

2021年度 第2回京大入試実戦模試志望動向<前期>

2021/12/09

※2022年度主な入試変更点

学部	学科	日程	2022年度変更点
医	医	前期	募集人員の約3倍 →共通テストの合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍

○全体では、志望者数は指数101の前年度並。文理別では、文系は指数99、理系は指数102でいずれも前年度並、本番入試で文系は3年連続減少、理系は7年連続減少だった反動は見られない。

○文系では、教育(文)が指数82の大幅減少で、平均偏差値も1.9ポイントの大幅ダウンで易化傾向。他の文系の募集単位はいずれも前年度並。

○文は、指数100の前年度並だが、平均偏差値は0.8ポイントアップで成績レベルのアップに要注意。

○法、経済(文)はいずれも指数101の前年度並だが、平均偏差値はそれぞれ0.4ポイントアップ、0.2ポイントアップで成績レベルがややアップ。

○総合人間(文)は、指数99の前年度並だが、平均偏差値は0.5ポイントダウンで成績レベルはややダウン。しかし、共通テスト:個別試験=150点:650点の個別試験重視配点のため、共通テスト失敗組の流入には要注意。

○文系学部の理系型募集単位では、総合人間(理)は、指数106のやや増加、平均偏差値も0.4ポイントアップでやや難化傾向。共通テスト:個別試験=100点:700点の個別試験を極端に重視する配点のため、共通テスト失敗組の流入にも要注意。経済(理)は指数84の大幅減少で、平均偏差値は1.6ポイントの大幅ダウンで易化傾向。教育(理)は指数98の前年度並だが、平均偏差値は-0.8ポイントダウン。

○理系は、理が指数102の前年度並、工は指数104のやや増加。工の学科別では、系統への人気が高い(情報)が指数113の増加で平均偏差値も0.9ポイントアップで難化傾向。(物理工)は指数105のやや増加。一方で、(電気電子工)は指数95のやや減少で6学科中唯一の減少、平均偏差値も0.7ポイントダウンで易化傾向。他の3学科はいずれも指数は前年度並だが、(工業化学)は平均偏差値が0.6ポイントアップで要注意。

○農は本番入試で過去2年間連続して志願者数700人を下回った反動は小さく、指数104のやや増加に留まり、系統への低い人気の影響が続いている。学科別では、(森林科学)は指数116の大幅増加で、平均偏差値も2.8ポイントの大幅アップで難化傾向。(食料・環境経済)は指数151、(地球環境工)が指数135の2学科はこれを上回る大幅アップだが、平均偏差値はそれぞれ0.8ポイント、1.1ポイントのダウンで難化傾向はない。一方で、(応用生命科学)が指数90の減少、(資源生物科学)(食品生物科学)はいずれも指数94のやや減少で、6学科間で増加と減少が3学科ずつに分かれた。なお、農は第6志望まで認めており、実質的には学部一括募集に近い選考なので、模試では減少している学科の志望者も楽観は禁物。

○メディカル系では、コロナ禍の中で創薬への関心が高まっている薬が指数104のやや増加で、平均偏差値差も0.7ポイントアップで、やや難化傾向。

○医(医)は指数95のやや減少だが、平均偏差値は0.5ポイントアップで、少数激戦模様。

○医(人間健康科学)は指数86の減少だが、平均偏差値は1.3ポイントアップで易化傾向はない。

2021年度 第2回京大入試実戦模試<前期> 志望状況 2021/12/09

大学	文理	学部(学科)	志望者指数		平均偏差値差	
			2021年度 /2020年度	2020年度 /2019年度	2021年度- 2020年度	2020年度- 2019年度
京大	文系	文	100	93	+0.8	-0.2
		法	101	88	+0.4	-0.2
		経済	101	87	+0.2	-0.3
		教育	82	90	-1.9	+0.1
		総合人間	99	105	-0.5	+1.9
	理系	経済	84	111	-1.6	-0.5
		教育	98	85	-0.8	+1.7
		総合人間	106	106	+0.4	+0.7
		理	102	97	+0.9	-0.3
		工	104	94	+0.2	+0.1
		医(医)	95	113	+0.5	-1.0
		医(人間)	86	122	+1.3	-3.7
		薬	104	102	+0.7	-1.8
	農	104	95	+0.5	±0.0	
		文系	99	91		
	理系	102	99			
	合計	101	96			

